

決算報告

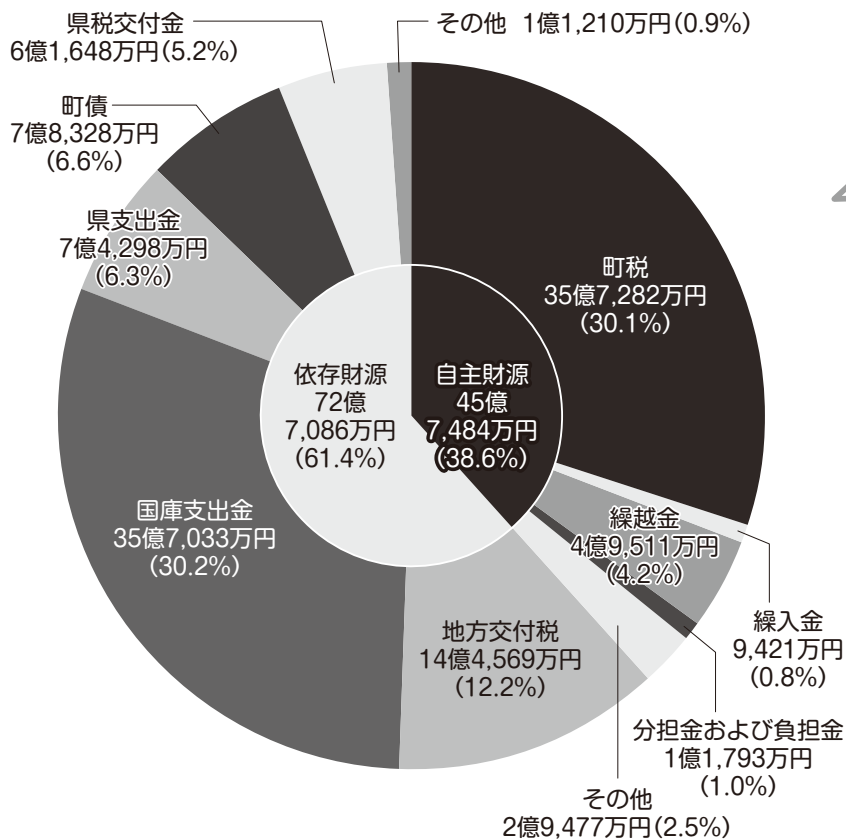
令和2年度

令和2年度の決算が町議会で議決されました。決算は1年間の事業内容を歳入（収入）と歳出（支出）で表したものです。

令和2年度は、総合計画に位置づけられた事業を着実に実施するとともに、国内外で猛威をふるう新型コロナウイルス感染症に対する施策に取り組みました。

主な事業では、学童保育所の改修や小中学生の医療費の無償化の継続な

一般会計 **歳入**
118億4,570万円



- ・歳入総額は、前年度と比較すると、新型コロナウイルス感染症に対する国庫支出金が増加したことに伴い、22億669万円増加しました。
- ・町税は、法人町民税が大きく減収し、過去最高の町税収入であった令和元年度から一転、町税全体で約5億7,788万円の大幅な減収となりました。
- ・国庫支出金は、特別定額給付金の支給その他の新型コロナウイルス感染症関連経費に充てるための補助金、交付金が増加したことに伴い、増加しています。

令和2年度に実施した主な事業

学童保育所施設整備



1,495万円

子育て環境の充実を図るため、西大路学童保育所わたムッキーおよび必佐学童保育所太陽の子の施設整備工事を実施。

防災情報伝達システムの構築



1億8,527万円

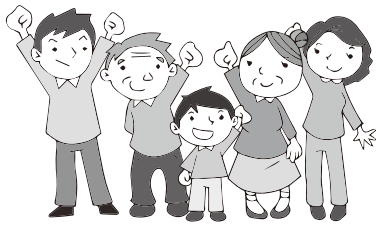
防災情報を迅速に伝達するため、防災行政無線のデジタル化、防災アプリの構築、FM波を利用した戸別受信機を整備。

町道西大路鎌掛線道路改良工事



1億3,438万円

国の社会資本整備総合交付金を活用し、町道西大路鎌掛線の道路改良工事を実施。

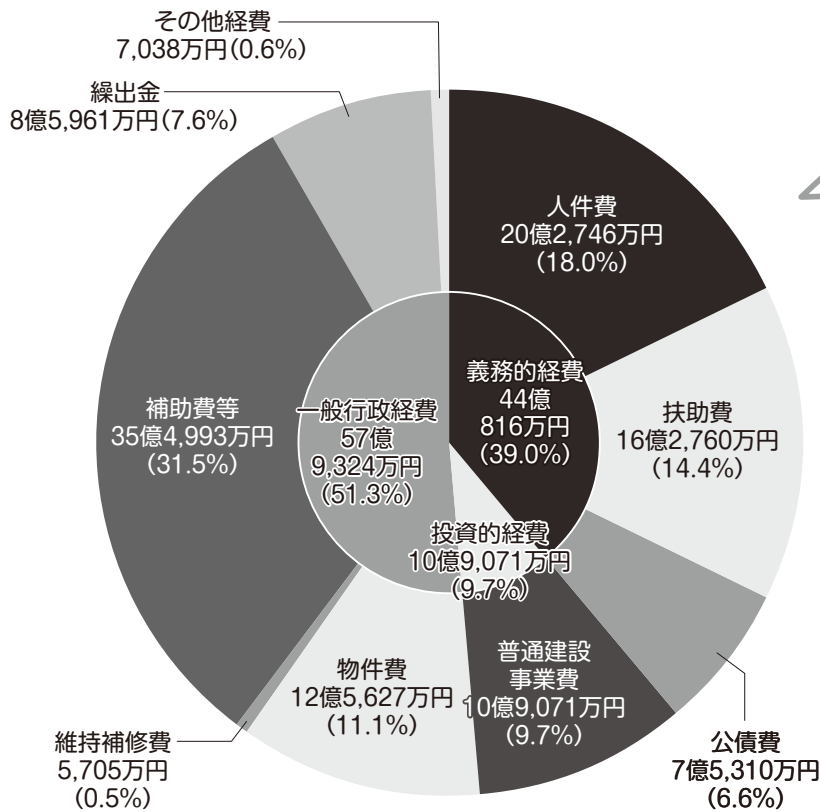


ど、安心して子育てが出来る環境づくりを進めるとともに、防災行政無線のデジタル化、防災アプリの構築、戸別受信機の整備など、防災力の強化を図りました。

また、新型コロナウイルス感染症対策では、特別定額給付金の給付、子育て世帯への臨時特別給付金の給付を行うとともに、町の独自事業として、「ふるさと日野町がんばろう商品券」の配布や持続化給付金の対象外となった小規模事業者への独自支援、小中学校への学習支援員の増員など、約50事業にわたる対策を実施しました。

結果、決算規模としては、歳入歳出ともに過去最大となりました。

一般会計 歳出 112億9,211万円



- ・歳出総額は、前年度と比較すると、新型コロナウイルス感染症関連の経費が増加したことに伴い、21億4,821万円の増加となりました。
- ・歳出を性質別に見ると、住民や各団体に対する補助費等が、31.5%と最も多く、特別定額給付金の支給や町独自の新生児への特別給付金の支給などにより前年度から大きく増加しています。



令和2年度に実施した主な事業

ふるさと日野町 がんばろう商品券配布



6,724万円

地域経済の活性化を図るため、町内店舗で利用できる「ふるさと日野町がんばろう商品券」を、一人あたり3,000円配布。

小中学校への 学習支援員の増員



1,996万円

学習環境の向上を図るため、小中学校において、学校活動や教職員のサポートを行う学習支援員を増員。

子育て世帯・新生児への 支援



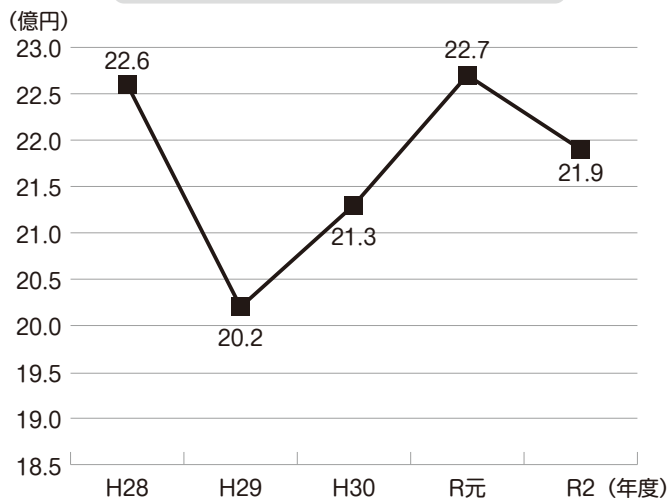
3,732万円

国の特別定額給付金の対象とならない新生児への特別給付や、18歳までの児童などを養育する全ての世帯に対する給付。

町の貯金と借金

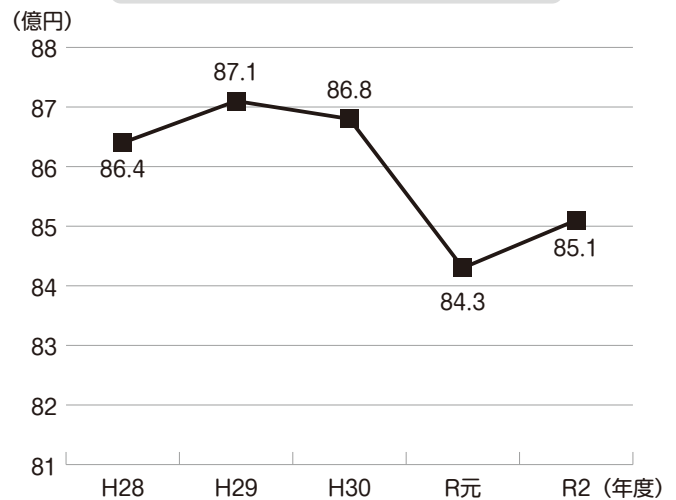
借入金を抑制し、
着実に返済を進めています。

貯金（基金残高）



町の貯金は、新型コロナウイルス感染症により税収が落ち込んだことから、令和2年度は取り崩しています。突発的な災害等への対応や今後の財政需要に備えるため、積み立てを進めていきます。

借金（町債残高）

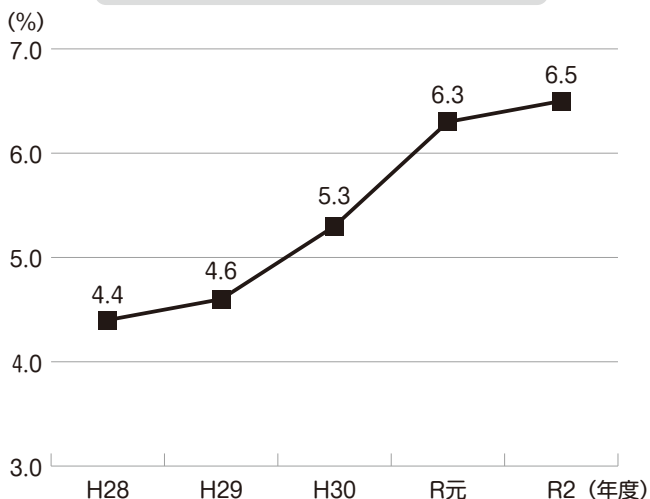


町の借金は、公共施設の維持管理のための工事等により令和2年度は増加しているものの、新たな借入金を抑制していることから、減少傾向にあります。

健全化判断比率

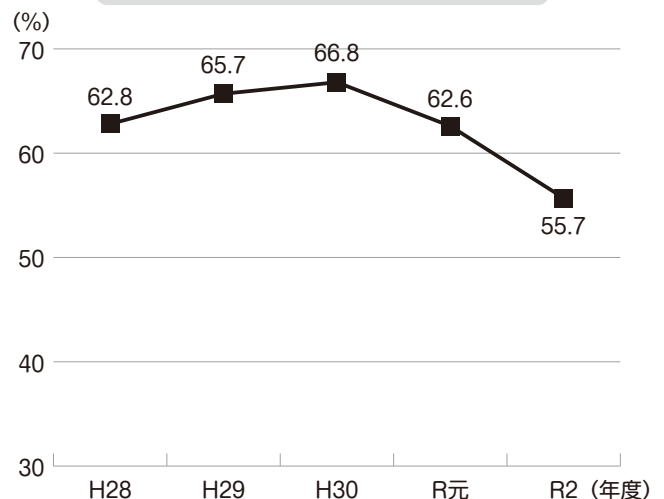
町の財政は健全です。

実質公債費比率



実質公債費比率は、年間の借金返済の大きさを表しています。近年は、過去に借入れた借金の返済が増えており、増加傾向にあります。

将来負担比率



将来負担比率は、将来に負担が見込まれる負債の大きさを表しています。近年は、新たな借入金を抑制し、返済を進めていることから減少しています。

財政の健全化を示す指標は、いずれも早期健全化基準（実質公債費比率25%、将来負担比率350%で、この基準以上になると、早期に改善が必要とされます）を大きく下回っており、町の財政状況は健全であることを示しています。